

日本物理学会市民科学講演会

ノーベル物理学賞受賞記念講演会 サイエンスへの限りない好奇心

2009年3月29日(日)

14:00~16:45 (13:00開場予定)

於:立教大学タッカーホール
(〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1)

プログラム

司会: 日本物理学会副会長 大貫惺睦

挨拶 (14:00~)

日本物理学会会長 二宮正夫
日本学術会議会長 金澤一郎
立教大学総長 大橋英五

解説(14:20~15:10)

益川先生と小林先生の研究と 素粒子物理学の歴史的歩み

「素粒子物理学の歩み 理論的見地から」東島 清
「素粒子物理学の歩み 実験的見地から」高崎史彦

祝辞(15:25~15:35)

江崎玲於奈 (1973年度ノーベル物理学賞受賞)
小柴 昌俊 (2002年度ノーベル物理学賞受賞)

受賞記念講演(15:40~16:45)

益川敏英 2008年度ノーベル物理学賞受賞

「1970年代:混沌から収束へ」

小林 誠 2008年度ノーベル物理学賞受賞

「対称性とその破れ」

主催:日本物理学会

共催:日本学術会議、立教大学

解説の先生方のプロフィール

東島清先生

場の量子論の多様な可能性を調べることにより、素粒子の質量や対称性などの基本的問題を追求しています。また、場の量子論の立場から超弦理論の可能性について考察しています。



略歴

1970 京都大学理学部物理学科卒業
1974 京都大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程中退
1974 東京大学理学部物理学科助手
1976 京都大学理学博士
1977 Purdue 大学物理学科 Research Associate
1987 高エネルギー物理学研究所物理研究部助教授
1993 大阪大学教授
2008 大阪大学大学院理学研究科長

高崎史彦先生

KEKBファクトリーの 実験を立ち上げ、CP対称性の破れの確かな証拠をつかみ、小林・益川モデルの正しさを証明したことで、生田勝宣教授(KEK)とともに2001年度仁科記念賞を受賞されました。



略歴

1971 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)
1974 東京大学理学部助手
1974 東京大学理学部附属高エネルギー物理学実験施設助手
1975 高エネルギー物理学研究所助手
1979 高エネルギー物理学研究所助教授
1986 高エネルギー物理学研究所教授
2006 高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所所長

申し込み方法

往復はがきにて事前申し込みをお願いします。
聴講は中学生以上の方に限らせていただきます。

申し込み受付開始:2月 1日(日)
締め切り:2月27日(金)(必着)

会場は満席になることが予想されます。聴講者は抽選で決めさせていただきます。キャンパス内にはタッカーホールの他、2箇所の中継会場を準備しております。

往復はがきには、①ご住所、②お名前、③年齢、④日本物理学会会員の方は会員番号)を明記し、また、返信はがきには、あなたのあて先をご記入の上、

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-3
栄進開発ビル 5階
(社)日本物理学会事務局

へご郵送ください。お一人様一枚の往復はがきでお申し込みください。お預かりする個人情報には本講演会に関する連絡のみに利用いたします。

抽選結果は3月上旬に返信はがきにて連絡いたします。

往信の宛名面 返信の裏(文)面

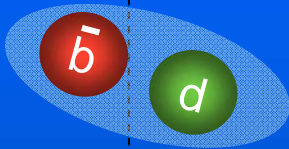
<input type="checkbox"/>	105-0004 (社) 東京都港区新橋5-34-3 栄進開発ビル5階 日本物理学会事務局 宛

返信の宛名面 往信の裏(文)面

<input type="checkbox"/>	あなたの郵便番号	あなたの住所 お名前 年齢 日本物理学会会員の方は会員番号
お名前	あなたの住所	

ノーベル物理学賞の先生方のプロフィール

益川 敏英 先生



ノーベル賞は小林先生と共同で「クォークの世代数を预言する対称性の破れの起源の発見」に対して贈られました。益川先生は量子重力をはじめとする理論的な研究を続けられています。『現代の物質観とアインシュタインの夢』(岩波書店)、『いま、もう一つの素粒子論』(丸善)等の著書があります。

略歴

- 1962 名古屋大学理学部物理学科卒業
- 1967 名古屋大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)
- 1967 名古屋大学理学部助手
- 1970 京都大学理学部助手
- 1976 東京大学原子核研究所助教授
- 1990 京都大学理学部教授
- 1997 京都大学基礎物理学研究所所長
- 2003 京都大学名誉教授
- 2003 京都産業大学理学部教授

主な受賞歴

- 1979 仁科記念賞
- 1985 アメリカ物理学会J.J.サクライ賞
- 1985 日本学士院賞
- 1994 朝日賞
- 2001 文化功労者
- 2008 ノーベル物理学賞
- 2008 文化勲章

小林 誠 先生



ノーベル賞は益川先生と共同で「クォークの世代数を预言する対称性の破れの起源の発見」に対して贈られました。小林先生は、高エネルギー加速器研究機構の理事や、同機構の素粒子原子核研究所所長等を歴任され日本の素粒子物理学を牽引しています。『消えた反物質』(講談社)等の著書があります。

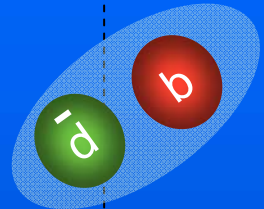
略歴

- 1967 名古屋大学理学部物理学科卒業
- 1972 名古屋大学大学院理学研究科修了(理学博士)
- 1972 京都大学理学部助手
- 1979 高エネルギー物理学研究所助教授
- 1985 高エネルギー物理学研究所教授
- 2003 高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所長
- 2004 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構理事
- 2006 高エネルギー加速器研究機構名誉教授
- 2007 日本学術振興会理事

主な受賞歴

- 1979 仁科記念賞
- 1985 アメリカ物理学会J.J.サクライ賞
- 1985 日本学士院賞
- 1994 朝日賞
- 2001 文化功労者
- 2008 ノーベル物理学賞
- 2008 文化勲章

南部 陽一郎 先生



ノーベル賞は「素粒子物理学と核物理学における自発的対称性の破れの発見」に対して贈られました。南部先生は素粒子の強い相互作用の先駆的研究としてカラーチャージを導入したことや、弦理論の創始者の一人としても知られています。『クォーク』(講談社)等の著書があります。

略歴

- 1942 東京帝国大学理学部物理学科卒業
- 1942 東京帝国大学助手
- 1949 大阪市立大学理工学部助教授
- 1950 同大学理論物理学教室教授
- 1952 東京大学理学博士
- 1956 シカゴ大学助教授
- 1958 シカゴ大学教授
- 1972 フェルミ国立加速器研究所理論物理学教授
- 1991 シカゴ大学名誉教授

主な受賞歴

- 1978 文化勲章
- 1982 アメリカ国家科学賞(物理学部門)
- 1985 マックス・プランク・メダル
- 1986 デイラック賞
- 1994 アメリカ物理学会J.J.サクライ賞
- 1994 ウルフ賞物理学部門
- 2005 ベンジャミン・フランクリン・メダル
- 2008 ノーベル物理学賞